

四小だより

令和元年 8月22日号



いちよう

山形市立第四小学校

校長 鈴木 一 尋

<児童数 214名>

〒990-0055

山形市相生町4番37号

TEL 623-6019

FAX 633-9321

2学期 元気に始めました

各家庭・地域での見守りありがとうございました。8月21日(水)、長い(短い)夏休みを終えて、子どもたちが元気に学校に戻ってきました。今年は、ゴールデンウィーク10連休、秋にも祝日(即位礼)があり、25日間という例年よりも短い夏休みでした。

今それぞれの教室では、夏休みの頑張りの展示や発表が行われています。少しずつ普通の学校生活に戻っていきます。

保護者の皆様、地域の皆様、2学期もどうぞよろしくお願い申し上げます。



8月21日、2学期始業式での校長の話(抜粋)

今年の夏も暑い夏でした。夏休みが始まったのが7月27日土曜日、気温は35度でした。それから、連日30度以上の日が続きました。35度を超えた日は9日間もありました。

8月5日、花笠祭りに参加した人がいました。管弦の練習に参加した人がいました。水泳の練習をした人もいます。水かけや本を借りに来た人もいました。皆さん、暑さに負けずに頑張りました。

学校では、大きな工事が行われました。昇降口の前から北門まで深くて長い溝を掘り、電気工事をしました。これは、10月から始まるエアコン工事のための電気工事でした。山形市内のすべての小中学校では、来年の夏から教室でエアコンが使えるようになります。また、今日、いちようの枝きり(剪定)が行われます。いちようの枝が伸びてアリーナの屋根に届いています。いちようもアリーナの屋根も傷つかないように枝切りをします。

今日から2学期が始まります。2学期は85日間ありますが、214名のみなさんと22名の先生方が全員元気で、みんなが頑張ったと言える日にできたらいいと願っています。

そのために、いつもの2つをお願いします。

1、自分のいのちは自分で守る。（「止まる」「見る」「待つ」の徹底）

2、「厳しいことも言い合える良友になる（良友は心に痛し）」

2学期は、9月にいちょう兄弟体験学習、11月にいちょう音楽会があります。また、10月には公開研究会もあります。いろいろな場面で、自分を高める2学期、みんなで高め合う2学期にしましょう。

学校のシンボルいちょうの木の枝切り（剪定）を行いました

四小のシンボルいちょうの木は、アリーナの南側にくっつくようにそびえている樹齢230年ともいわれる大木です。大きく枝を広げ、春には緑の若葉をつけ、夏には涼しい木陰づくり、秋には黄色い実をつけ、冬には雪化粧する、季節ごとにその姿を変える美しい大木です。

あまりにも大きいので、高所作業車でないと手入れができず、近年は枝切り



などできないでいました。アリーナの屋根に葉や実が落ちる。台風の時など枯れ枝が落ちたり、大きく揺れたりする。枝が多すぎるのか実も小さいものばかりになってしまった。木もアリーナ側に傾いてきている。何とかできないものかとずっと教育委員会に相談していて今回の作業になりました。

21日の作業を見ると、「こんなに切るの？」と心配になったのも事実です。しかし、剪定の意味など調べてみると、剪定は木に必要なものだとなりました。

【剪定の目的】

1. 樹形を整える
2. 均整のとれた生育を促す
3. 花や実のつきをよくする
4. 病虫害を防ぐ
5. 更新、若返りを図る

（引用：一般財団法人日本緑化センター）

1～4はだいたいわかります。5にある「若返りを図る」とは、枝を切ることで、そこに「新芽」を出させて、枝の若返りを図るのだそうです。木はかまわないでいてはだめで、定期的に剪定をする必要があるのだそうです。大きく剪定している街路樹や桜の木などに会いますが、どの木も数年でさらに元気な様子を見せてくれます。

私たちの学校のシンボル大いちょうももっともっと元気になって、昔のように大きな実をたくさんつける木になるように願い見守ってまいります。